



NetCommons で全市一斉の学校ホームページ構築



佐野市における小学校 28 校、中学校 10 校及び教育センターを含めた合計 39 拠点の、全市一斉のホームページ構築に関する取り組みの事例です。メンテナンスやセキュリティーは教育委員会が一括管理することで、各校の先生方は教育広報活動や e-ラーニング教材などコンテンツ自体の検討に注力できるという、様々な研究の中で現在理想とされている形態での導入を実践しています。全市共通のシステムですので、異動に伴う引継業務が軽減でき、グループウェアとしての活用も可能です。真岡市でも同様の取り組みを実施中です。一斉導入を検討する上で、大変参考になる事例です。

- 1 **学校名** 佐野市立南中学校 他
研究協力委員 手塚 裕之 教諭 他

2 従来のホームページ状況

【佐野市の現状】

平成 19 年 2 月現在、市内全小・中学校 38 校(小 28 校、中 10 校)中、28 校(小学校 20 校、中学校 8 校)が学校ホームページを開設している。しかし、頻繁に更新し、保護者などに積極的に情報を公開している学校がある一方、ほとんど更新が行われていない学校も数多くあった。

サーバ環境は全ての学校が民間のプロバイダのサーバを利用している。なお、合併前の旧市町によって契約プロバイダ及び契約内容が異なっており、学校によっては、サーバの利用領域が 10M で、頻繁にデータの入替えが必要となる状況が平成 19 年 12 月の時点でも続いていた。

ホームページの作成は、いずれの学校でもホームページビルダーを利用している。また、更新は各校長の承認を経て FTP アカウントを利用してアップロードを行っている。

平成 18 年度から、佐野市教育センターにおいて、市内各小中学校の情報教育担当者を対象に、ホームページ運用研修を実施している。平成 19 年 8 月には各学校にホームページビルダー 10 を配付し、前年度に続き、作成ならびに運用に関する研修を実施した。

平成 19 年 12 月現在の学校ホームページの開設状況
開設済 34 校 (小学校 24 校、中学校 10 校)

【南中学校の場合】

(1) サーバ環境

佐野ケーブルテレビのサーバ

(2) ホームページの構成

トップページからそれぞれのページにリンク (沿革史、校歌、特色、学校紹介など)

(3) 更新頻度およびアクセス数

HTML 作成ソフトを利用して公開データを作成し、それを WWW サーバに転送する方式であったが、この方法では情報教育担当者だけに負担がかかり、担当者の異動に伴う Web ページの更新維持作業も困難となり、更新は 1 年に 1 度だけしか行われていなかった。

(4) その他

使用ソフトウェア：ホームページビルダー

3 CMSによるホームページの構築

【佐野市における全市一斉のホームページ構築】

(1) 構築に際しての配慮事項

- 1) 教育センターが窓口となり、佐野市立全小・中学校のホームページの管理が一括してできること
- 2) 各学校に必要最低限（200MB以上）のサーバ領域を確保できること

(2) サーバ環境

民間業者のホスティングサーバを利用

(ホスティングサービスの内容)

- 1) メールアドレスサービス（メールアドレス発行可、ウィルスチェック、スパムメールチェック）
- 2) WWWディスクサービス（XOOPS利用可、FTPアカウント）
- 3) ディスク容量 10GB

佐野市においては、セキュリティ上の問題から行政のネットワークサーバにシステムを組み入れることができないため、ホスティングサーバを利用している。

(3) 構築作業（技術的内容）

佐野市内全小・中学校のシステムを一括管理する目的から、FTPアカウントは各小・中学校には発行せず、各小・中学校のシステム（38校分）を佐野市教育センターにて構築した。このうち、今年度、6小・中学校を調査研究の対象として、平成19年12月現在、システムが稼動している。

なお、初期導入に際し、栃木県総合教育センターの委託業者に依頼し、38校及び佐野市教育センター分のNetCommons1.0.10によるホームページを構築した。平成19年12月現在では、市の情報政策課に依頼し、FTPを利用できる状態となったため、システムのアップロード、CGIの利用など、佐野市教育センターにおいてサーバ管理を行う事ができるようになっている。今後、動作確認を行い、全校NetCommons 1.1.2へアップロードを行う予定である。

(4) 構築のポイント

佐野市内全小・中学校のシステムを一括管理する目的から、FTPアカウントは各小・中学校には発行せず、各小・中学校のシステム（38校分）を佐野市教育センターにおいて構築した。

ただし、調査研究の内容によって学校にアカウントを発行し、活用をお願いしている。（平成19年12月現在1中学校へ配付）

佐野市教育センター管理のサーバにおいてシステムの一括管理を行うことにより、システムのアップロード、迷惑メール対策のCGIの利用などを学校に代行して行う事ができるとともに、市内の小・中学校で共通した運用を行う事ができる。

【サーバ環境】

バージョン情報	
OS	FreeBSD 6.1
Perl	5.8.8
PHP	5.0.4/4.4.2/4.4.1/4.3.11
Python	2.4.3
Ruby	1.8.4
MySQL	4.0.24 (port 3306) / 5.0.26 (port 3307)
PostgreSQL	8.1.4 (port 5432)
httpd	Apache/1.3.34 Ben-SSL/1.57 (Unix)
MTA	qmail 1.03

【各学校での運用に向けた佐野市としての取り組み】

佐野市教育センター情報教育調査研究委員会の平成 19 年度の研究テーマを「開かれた学校づくりを推進するための学校ホームページの活用について」とし、市内各小・中学校から6名の調査研究委員を選出、委嘱した。

調査研究会では栃木県総合教育センターの研究と連携を図りながらシステムの構築を行うとともに、運用に向け、市内小・中学校で共通して利用することを目的とし「学校 Web サイト作成に関するポリシー」ならびに「schoolnet-sano.jp システム」運用規定を作成した。

また、システム構築後、平成 19 年8月に栃木県総合教育センター委託業者を招聘し、佐野市役所葛生庁舎にて、調査研究委員6名を対象に研修会を開催した。(別添写真参照)

なお、佐野市教育センターを中心に、調査研究委員会では今後の一斉導入に向け、以下のことを実施した。

- ・ システムの構築(全 38 小・中学校分)
- ・ ポリシーなどの作成(資料データ添付)
- ・ 研修会の実施(資料データ添付)
- ・ 迷惑メール対策としてのメールフォームの作成ならびに設置 (資料データ添付)

【南中学校の場合】

(1) ホームページ設計

NetCommons の基本フレームをもとに、学校生活の様子や、学校紹介など、誰でも閲覧できるページと、ID とパスワードを入力しないと閲覧できないページに分けることで、生徒氏名の載っている各種たよりの閲覧を制限した。

(2) 作成作業 (技術的内容)

基本的な骨組みは、情報担当者が作成し、以降の記事更新や、各種たよりのアップロードは、それぞれの担当者が随時更新していく。

(3) 運用体制

校内研修

- ① 原案を元に作成に関するポリシー (ガイドライン) の作成 (8 月上旬)
- ② 運用に関する組織ならびに運用規定の作成 (8 月上旬)
- ③ 保護者への通知の検討 (8 月中旬)
サイトの新規開設についてのお知らせ、サイトに掲載する写真についての許諾
- ④ 作成に関するポリシー・運用規定の起案 (8 月中)
- ⑤ サイトの完成ならびに起案 (8 月中)
- ⑥ サイトの開設について職員会議にて提案 (8 月 31 日)
職員への ID ならびにパスワードの発給 (8 月 31 日)
- ⑦ サイトの登録を教育センターに依頼 (市ホームページならびに「日本の学校」) (9 月 3 日)
- ⑧ 保護者宛通知の発送 (9 月 7 日)
- ⑨ サイトの運用 (随時更新開始)
- ⑩ 職員への研修会の実施
職員対象「NetCommons」の利用に関する研修 (9 月中)

作成者対象モジュール活用研修の実施（9月中）

- ⑪ サイト閲覧の記録の確認ならびに運用組織などの見直し（11月）

(4) 運用のポイント

- ・ 校長が「管理者」となり、各担当が更新した内容をチェックし、承認することで公開していく。
- ・ 学校行事や、学校生活の様子などについて、その日のうちに記事を書き、校長の承認を得られるようにする。
- ・ 南中の場合、校長が1日1回以上ホームページを閲覧しており、新しい記事があればすぐに掲載している。また、休日に記事を更新したときなど、電話で承認を得たこともあった。いずれにしても、学校ホームページを運用していく上で、管理職の理解が得られたことは、大変ありがたい。

5 活用事例

【南中学校の場合】

(1) ホームページデザイン

○ 随時更新するページ

- ① 南中NEWS（お知らせ、今日の出来事、第1学年、第2学年、第3学年、生徒会活動、部活動）
 - ・ お知らせ
 - ・ 更新履歴
 - ・ 各記事
- ② 行事予定・生徒会活動・部活動など
- ③ 各種たより：ログインして南中コミュニティから閲覧（ID、パスワード必要）
 - ・ 学校通信「南十字星」（1号、2号、・・・）
 - ・ 1学年だより「みなみかぜ」（4月号、5月号、・・・）
 - ・ 2学年だより「かけはし」（4月号、5月号、・・・）
 - ・ 3学年だより「虹」（4月号、5月号、・・・）
 - ・ 生徒指導だより「紙風船」（1号、2号、・・・）

○ 年1回更新するページ

- ① 学校基本情報（所在地など）
- ② 学校概要（学校紹介）
 - ・ 校長あいさつ
 - ・ 学校教育目標
 - ・ 学校像
 - ・ 生徒像
 - ・ 生徒の指標
 - ・ 生徒数・学級数・職員数
 - ・ 学校施設案内（学校略図、学校平面図）
- ③ 校歌
- ④ 沿革・歴史（南中学校の歴史）
- ⑤ 特色ある教育活動
- ⑥ 教育計画・研究
 - ・ 年間行事予定
 - ・ 研究成果報告



(2) モジュールの活用例

【日誌】

- ・ 南中 NEWS (今日の出来事)

【お知らせ】

- ・ 南中 NEWS のお知らせ
- ・ 各種たより (学校だより、各学年だより、生徒指導だよりなど) (PDFファイル)
- ・ 学校概要 (校長あいさつ、学校教育目標、学校像、生徒像、生徒の指標、生徒数・学級数・職員数、学校施設案内 (学校略図、学校平面図))
- ・ 校歌、沿革・歴史 (南中学校の歴史)、特色ある教育活動

【カウンター】

- ・ 来訪者カウンター

【カレンダー】

- ・ 行事予定

【新着情報】

- ・ 更新履歴

【iframe】

- ・ このサイトへのご意見 (CGIの利用) ホームページに学校のメールアドレスを載せることは、ダイレクトメールや迷惑メールの受信など、様々な面で問題が生じてくる。メールアドレスの流出・不正使用の防止を考慮し、メールアドレスを表示しない CGI によるメールフォームを作成し、それを「iframe」

機能で取り込むことにした。これにより、学校のメールアドレスが直接流出する危険性はなくなり、閲覧者の意見や感想を送信してもらえるようになった。

【キャビネット】

- ・ 学校からの配付物「PDF ファイル」

(3) 【GroupRoom】の活用例

- ・ 各種たより (学校だより、各学年だより、生徒指導だよりなど) 「PDF ファイル」の閲覧は、【MyRoom】 (南中コミュニティ) で行い、ログインしないと閲覧できないようにした。また、閲覧に必要なIDとパスワードは、各種たよりに記載し、南中関係者 (職員、生徒、保護者) のみが閲覧できるようにしている。パスワードは年度ごとに変更していくことで、卒業生やその保護者などの閲覧を制限できると考えている。

○当ホームページに関するご意見やご感想、ご質問は下記にご記入の上、送信ボタンを押してください。

☆ 南中学校宛メール送信 ☆

お名前:

所属: 本校保護者 校区内在住 校区外

e-mail:

件名:

本文:

※ すべての項目にご入力下さい。

※ご質問に関しましては返答できない場合もありますことご了承下さい。

トップページ
MyRoom
GroupRoom
南中コミュニティ
GroupPage

言語の選択: Japanese

レイアウトモード ON

あなたは 000000 人目です

2人のユーザが現在オンラインです。
ログインユーザ: 1

南中学校
 ログアウト

携帯版HPアドレス

南中通信「南十字星」

南中通信
『南十字星』
☆ザンク☆

2007.10.18 9号.pdf
2007.10.1 8号.pdf
2007.9.14 7号.pdf
2007.7.20 6号.pdf
2007.6.29 5号.pdf
2007.6.4 4号.pdf
2007.5.16 3号.pdf
2007.4.25 2号.pdf
2007.4.16 1号.pdf

6 まとめ

(1) メリットとデメリット

○ メリット

【佐野市として】

教育センター管理のサーバでシステムの一括管理を行うことにより、システムのアップグレード、迷惑メール対策のCGIの利用など、学校に代行して行う事ができるとともに、市内の小・中学校で共通した運用を行う事ができる。また、管理用IDならびにパスワードを発行しているため、学校の要請に応じシステムの変更を行う事ができる。

CMSを利用することにより、Web上で更新が可能になる。学校のパソコン教室を利用した研修会などでも更新が実体験できることは大きい。

アクセス解析プログラムなどを設置することにより、閲覧者の動向を把握することができる。学校に更新などを依頼するときの参考となる。

コミュニティサイトを開設することにより、各学校の先生方が、研修テキストの送付、研修結果の報告、報告書の提出などのやりとりにおいて、グループウェア的な利用が可能になる。

【佐野市教育委員会のコミュニティサイト】

The screenshot shows the homepage of Schoolnet-sano.jp. The header includes the site name and logo. Below the header, there are search and login options. The main content area is divided into several sections: a notice section with a dropdown menu for 'お知らせ' and a '過去10日間' filter; a section for '学校教育課からののお知らせ' (Notice from the School Education Department) with a list of upcoming events; a section for '教育センターからののお知らせ' (Notice from the Education Center) with a red warning message about a removed login module; and a sidebar on the right with site manager information and user statistics.

NetCommons1.1.2にて作成

【学校として】

- ・ 分かりやすい構成であり、比較的抵抗感なく誰もが操作することが可能である。
- ・ 生徒の日々の活動の様子や学校行事について、生徒・保護者が素早く情報を得ることができる。
- ・ 教職員が簡単な操作で記事を更新することができるので、ホームページの更新率が飛躍的に高まった。
- ・ CMSを利用することにより、Web上で更新が可能になる。自宅や出先での更新が可能になるため、よりタイムリーに記事の更新をすることができるようになった。運動会の実施の決定や、台風による休校のお知らせなどが、より早く記載できるようになった。
- ・ ID とパスワードを発行し、[GroupRoom] を活用することで、氏名などが記載されている各種たよりの閲覧に制限を設けることができた。
- ・ 「サイトへのご意見」を設置することで、地域の方や、商業施設などから情報が寄せられるようになった。
- ・ ホームページの基本構成が共通であるため、異動があっても違和感なく使用できる。

○ デメリット

【佐野市として】

- ・ 現在のサーバの仕様（ディスク容量、アカウントの発行数など）では、学校側の要請（動画の利用など）に全て応えることができない状況がある。

【学校として】

- ・ ホームページのデザインについては、選択の幅が狭いため、CMSを利用したWebページは似たようなデザインになってしまう。オリジナリティが低くなる。
- ・ サーバの仕様の都合で、動画の利用などについては制限がある。

(2) 今後の課題

- ・ 全教職員が書き込むには至っておらず、更新する人が決まっている。なるべく多くの人で役割分担できるように、検討する必要がある。
- ・ NetCommons の新しいバージョンは、デザイン面などで選択肢が多く、使いやすさにおいても利点が多い。佐野市教育センターの動作確認の状況によると、バージョンを上げると、写真のリンクは引き継がれるが、PDF ファイルやその他のリンクが途切れてしまう不具合が生じたとのことである。このことは、ファイル名を半角英数字で設定することにより対応できたが、各CMSの公式ページにあるQ&Aなどを有効活用し、細部での更なる研究が必要である。